

# 可部カラスの会

第51号 2002.4.15

## 昭和の佇まいを思い起こして 町並みを再現しよう

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16  
Tel(Fax)815-1833(新澤)  
shinzawa@fureai-ch.ne.jp (新澤)  
http://ha8.seikyou.ne.jp/home/kabekarasu/

5月25日～26日の大文字祭はこれで決まり。  
“昭和初期・可部の町並み再現”です。昨年の6月五丁目町内会の大先輩たちから提案がありました。「わしらがマメな間に古い可部の町並みを思い出して作ろうやあ。元気なうちにやっとかんにやあ、わからんようになってしまうで。」地区ごとに再現する話はとんとん拍子に進み、明神社と舟入掘の旧五丁目から牛馬市の上市まで、地域の先輩が集まって“思い出話に花を咲かせながら”聞き取り調査を終了し、素案ができたのは昨年秋でした。



昨年の下之町・上市ミーティング

イベントの第一部「町並みと思い出」は聞き取り調査を担当した梶川さんが、地域ごとのエピソードを披露しながら進行し、第二部では調査に加わってもらった先輩がたが出演して「子供の目から見た昭和初期の生活」を披露してもらう予定です。なんともおもしろい話が聞かれそうな雰囲気です。町の皆さんにも大勢参加してもらって、楽しい大文字祭フォーラムになるといいですね。

## ボラセン移転記念のまちづくり横丁も開店

『まちづくり市民交流プラザ』（現ボランティア総合支援センター）のオープニング記念としてまちづくり横丁が復活します。袋町小学校の一角に新築落成予定のプラザで、5月18(土)～19(日)“集まれ手弁当人間”をキーワードに開催される横丁にカラスもちろん出店します。

カラスの手弁当とは何だろうと先日の定例会で考えました。結果は“美酒鍋”でした。「え！手弁当に美酒鍋？」少しテーマにはそぐいませんが、会員それぞれの個性が出し汁となって渾然一体の味を醸し出し、なおかつ各自の持ち味を発揮している、将に美酒鍋の中で自己を主張している野菜のようです。

ゆくゆくは美酒鍋のバリエーションとして“可部鍋”あるいは“カラス鍋”を編み出そうという魂胆も見え隠れしていますが何はともあれ、交流プラザではカラス流のやり方で頑張ります。皆さん一度カラスの美酒鍋を味わって見ませんか。

### 定例会じゃあ こがぁな話しをしたんよ

3月27日(水)

可部線フェスタ 3月31日 戸河内

友広、新澤夫妻、古井、山口、和田木

三木、田中夫妻は可部線を利用

先発 友広、和田木は車で道具を搬送

可部小郷土資料館の整理

夏休みまでの土、日に学校へ

具体的問題は校長先生と詰める

カラスの花見 3月30日 友広庭

美酒鍋でゴージャスに…

大文字まつりのイベント 5月25～26日

昭和初期の可部本通りを思い出して…

発案者の皆さんの参加を願う

カラスは協賛、会場確保は和田木

チラシは岩田へ依頼

HP更新

具体的には担当者と山下と折衝。

4月10日(水)

可部南小 丸岡先生も参加

かべせんフェスタ カラスの仕業が売れた

大きなうねりになればいいな

まちづくり横丁 5月18～19日

「集まれ手弁当人間」キーワード 手弁当

グループの味を“弁当”に例えると…

大文字まつり

可部の町並み(昭和初期)再現

一部 昭和初期可部の町並みと思い出

二部 子供の目で見えた当時の生活を語る

カラスのホームページ

更新担当 メイン 山下

サポート 新澤、田中、山口

# カラスの仕業は大好評 **かべせんフェスタ** で

「カラスの名物“<sup>カガリビ</sup>篝火”を焚くことはできんかったけど、結構雰囲気としては良かったよ。」



市長さんも来店

と好評をいただいたのは可部線試験運転最後の日3月31日、戸河内で開催された『かべせんフェスタ』の会場でした。

今回のイベントは急な呼びかけにもかかわらず、カラスは9名が参加できました。

9時前に到着した先遣隊は店を飾るツールを運び込んでいたところで事務局から指摘。「体育館ですから火を使っちゃいけません。」やむなく飾るだけになってしまいました。それでも篝をたてて、

傍の床机に<sup>ショウギ</sup>緋毛氈をかけるとムードはいやが上に

も盛り上がり、なつかしように腰を掛けるお年寄りも見うけられました。

可部発9時25分のJRで応援に駆けつけた皆さんと共にカラスのメンバーも到着。さっそくブースの飾り付けにかかりました。そして会場も列車の到着で一挙に参加者も増えて賑やかになりました。

カラスのお店にも知名度の高いお客さんがたくさん来られました。そしてうれしいことに「カラスの仕業」も全部売り切れとなってしまいました。

もう一つ、戸河内にカラスが1羽生まれました。我々の活動に関心をもっていた斎藤さん、「会報だけの会員になりそうなんですけど…」それでもここにこしながら申込書にサイン。

フィナーレが近づいたステージでは少年少女で構成する楽団のマリンバ演奏が素晴らしいリズムを刻んでくれました。隣の神楽会場も満席の盛況だったとか…そして遂にフィナーレを迎えましたが、願わくば可部線がこのまま継続されればこの上ない喜びですね。

## 可部南女性会でも **大もてのカラス**

3月23日(土)中島の福祉センターで開催された可部南女性会の総会に、今年度もカラスが招かれました。

昨年は『大正末期の可部周辺』のビデオ上映でしたが、今年は『明神社とチンチロビッツ』と『可部の牛市』です。これらはふれあい

### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

4月 24日(水)

5月 8日(水) 22日(水)

#### カラスのイベント等

5月18日(土)~19日(日) まちづくり横丁  
中区袋町 袋町小学校の一角

5月25日(土)~26日(日)

可部の町並み再現 フォーラム

可部学区集会所

第一部 町並みと思い出

第二部 子供の目から見た昭和初期の生活  
(先輩にも応援依頼の予定)

25日 午前と午後の2回

26日 午前 1回 予定

チャンネル制作の“ふるさと探訪シリーズ”として作成されたビデオですが、可

部カラスの会が制作に協力したものです。会場には50名近い女性会の皆さんの熱気で一杯です。

司会進行は地元の加納明男さん、『明神社とチンチロビッツ』主演男優の梶川暢之さんと『可部の牛市』主演女優の新澤慶子さんが出演してお話しました。

いま住んでいる町の文化や歴史の話、町並みや商工業の盛衰変遷などの話はこれからのまちづくりのヒントにもなり、大変参考になったと大好評でした。

後日、街中で出会った人達からも、「楽しかったねえ、すごく勉強になったよ。」と感謝のことばを頂きました。



女性に囲まれて可部を語る梶川さん

# 可部カラスの会

第 52 号 2002.5.15

事務局 安佐北区可部 5-7-16

Tel(Fax)815-1833(新澤)

shinzawa@fureai-ch.ne.jp

http://ha8.seikyoku.ne.jp/home/kabekarasu/

## 昭和初期の町並み再現に集まる期待 古老の応援でできた企画

今年で5回目を迎える大文字祭り恒例のカラスのイベントに地元の人たちはもとより、周辺の人たちからも期待と賞賛の声をいただいています。今年も5月25日～26日に可部学区集会所で「昭和初期可部の町並み再現」これをやります。

この話は一年前に遡ることになりますが、FMラジオ“Pステーション”に旧五丁目の古老が出演したとき、思い出話に花が咲いて止まることがなかったようでした。そのうち古老の間から声が上がりました。「わしらがおらんようになったら可部のまちの記録ははわからんようになるけえ、なんとかしようやあ。」皆さんの熱意に押されたカラスの梶川さん、手始めに昭和初期の五丁目(地名は古い町名)の町並みを聞き取りが終わった頃からでハマってしまったんです。

五丁目の地図ができ上がったところで、四丁目～上市の古老に声をかけたら「そりゃあ面白い、やろうやあ。」賑やかに町の再現活動が始まりました。定かでない記憶をたどりながら、書いたり消したりの連続でしたがなんとかできあがりしました。その後もデータ収集に町をさまよう梶川さんの姿をよく見かけました。

さて大文字祭りの当日は“可部の町並みにまつわるエピソード”を梶川さんが、“子供の目に映った昭和初期のくらし”を「可部の町を思い出して見よう会」のみなさんが語ってくれます。楽しいフォーラムになること請け合いです。みんな揃っておいください。

## ライオンズクラブから表彰されました

ありがたいことです。ライオンズクラブから『ガバナーズアワード』という広島県地区年次大会で名誉ある賞をいただき、4月25日可部ライオンズクラブ定例会で伝達されました。しかもこの賞はこれまでノン・ライオン(ライオンズ以外のグループ)表彰された例がなく、可部カラスがはじめてなんだそうです。

このことは、今後、地域での活動もライオンズクラブと連携・協働していくことが期待されているように思います。これからも地域の人たちと一緒に、肩を張らずに手作りの活動を続けたいものです。

### 定例会じゃあ こがいな話をしたんよ

4月24日(水)

参加者 可部南小の先生を含めて13名  
まちづくり横丁 参加30グループ

テーマ カラス鍋

18日 和田木、新澤、山口

19日 友広、新澤、山口、瀬戸

水援隊の反省会 友広参加

ライオンズ中四国地区の表彰 25日(木)

代理で新澤が出席

ネパールへ小学校寄贈 井手本さん

6月中に報告会を開催

大文字祭り 5月25～26日

「昭和初期可部の町並み再現」

チラシ七千枚印刷、配布計画 和田木

その他の用具も適宜用意すること

5月8日(水)

参加者 7名

ライオンズクラブ表彰伝達

ライオンズ以外の受賞はカラスが初めて

まちづくり横丁 袋町交流プラザ

用具の搬送あり 18日10時 現地集合

可部中(可部の歴史学習)への協力依頼

高松山登山 2年生全員が参加する

6～7月に実施の予定 別途連絡あり

NHK「おはよう中国」インタビューの依頼

5月13日

友近さんが出演 可部と京都との類似点

大文字祭り

レジメ 梶川・冊子 田中・製本 みんな

可部線存続大行進アゲイン 12日～13日

13日の行進参加 新澤 見送り 多数

## 沿線の思いを結集して 可部線存続大行進アゲイン

カラスもこの行進に参加しました。12日午後8時頃河戸駅に到着した一行を出迎え、品窮寺まで行進を共にしました。朝5時に三段峡駅を出発して15時間あまり地域住民に存続をアピールしながらの行進でしたが、長旅の疲れも見せず1日目の工程を終了しました。本当にご苦労さんでした。

明けて13日午前9時半可部駅で氣勢をあげた一行は勇躍広島へ向けて出発しました。

まず感じたのは“下の浜”で皆さんが大きな声援を送ってくれたことでした。声援はいたるところで見られましたが、横川地区へ入ると一段と大きな声援に変わりました。

横川地区は可部線と共に発展した町でもあり、可部線に対する思いは格段のものがあるようです。



太田川橋を渡って進む行進の列

### 幟に託したカラスの気持ち

カラスの幟は安芸飯室から広島まで運ばれました。1日目代表が担いだ「カラスの幟」は可部から3本になり「新町商店街振興組合」の応援をいただいて最終目的地まで行進しました。2日目の行進に終日参加した新澤、和田木さん、加納、新澤慶、山口の皆さんも途中まで参加し、幟に思いを込めての行進でした。この運動を通じて培われた仲間意識が大きな花を咲かせてくれるといいですね。

## 終わって”ホッとしました” ラジオ出演の友近さん

カラスの友近さんがNHKのラジオ番組「おはよう中国」に声の出演です。5月13日大文字祭りをバネにして続けるカラスのフォーラムで「可部と京都の類似点」や今年のテーマ「昭和初期の可部の町並み再現」を淡々と語りました。インタビューを終えての感想は“たかが7分～8分のインタビューでもアナウンサーやらカラスの人たちとのやり取りで話を絞り込む準備は大変でした。でも言いたいことは表現できてホッとしています。大文字祭りに多くの方が来ていただけたらと思います”と話してくれました。

### 懸魚を彫る高畑さん



明神社の修復に

伴い、懸魚(破風板を寄せたところに下げる飾り)を彫ることになった可部南の高畑さん。

「彫ると決めたのは可部でお世話になった恩返し的心と生涯勉強の気持ちなんよ。」話を続けながらもノミを打つ手は止まりません。

「可部は変わったけんのお」戸田仁屋、馬の蹄鉄を打つ鍛冶屋などなど昔ばなしが続きます。一徹な職人氣質と廃材を活用して彫る高畑さんの作品がどれもすばらしいことは有名です。少し目が不自由のようですが、まだまだいろんなことに挑戦するそうです。

地元で地道な努力を続ける人はたくさんあるでしょう。みんながんばってほしいですね。

#### カラスのスケジュール

##### カラスの定例会

5月 22日(水)

6月 12日(水) 26日(水)

##### カラスのイベント等

5月18日(土)～19日(日) まちづくり横丁  
中区袋町 広島市まちづくり市民交流プラザ  
(袋町小 構内)

18日 午後1時～午後6時

19日 午前9時～午後4時

5月25日(土)～26日(日) 大文字祭フォーラム  
可部学区集会所

25日 13:30～15:00

26日 10:00～11:30

13:30～15:00

第1部 昭和初期可部の町並とエピソード

第2部 子供の目に映った昔のくらし

町の古老が多数出演

# 可部カラスの会

第53号 2002.6.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16

Tel(Fax)815-1833(新澤)

[shinzawa@fureai-ch.ne.jp](mailto:shinzawa@fureai-ch.ne.jp) (新澤)

<http://ha8.seikyuu.ne.jp/home/kabekarasu/>

## 高松山の自然を満喫 可部中2年生

### 入念な下調べにカラスも協力

6月14日(金)可部中2年生の皆さん約200名が高松山に登りました。これは可部中2年生の総合的学習として取組んだ企画で、学校側の綿密な計画に基づいて“カラスとの打合せ”、山登りに対する注意などの“事前学習”を経て実行の日を迎えました。

今回の登山コースは可部、上原、土居の3コースの設定です。高松山の頂上や大文字の点灯スポットは非常に狭いため、一度に大勢の人が集まると危険です。そこで到着時間に差を設けてラッシュを避けるためのコース設定なんです。

各コースから山頂を目指して12時半にスタートし、3時帰着しますが、下山は可部コース1本に絞って、先着組から帰途に着く予定で実施しました。



元気に出発、可部高校グランド横で

## いろいろな体験に生徒は大満足

早めの昼食をとった生徒たちは中庭に集合。これに合わせて中学校の要請で案内役を引き受けた「可部カラス」のメンバーも集結しました。足腰をいたため心配された梶川、田中さんも参加、そのほか広島やまびこ会の真田啓子さん、登山愛好家の丸亀純子さん、安田淳子さんなどなど、中学校もカラスもいろいろな方々の協力をいただいて、万全の体制で臨みました。

生徒たちは“事前学習で”教わった、高松山の植物をみつけたり、狸や鹿の排泄物を見つれたりマムシに気をつけながらの登山でしたが、自然にふれること、教室では味わえない空気に触れて満足の様子でした。幸い故障者もなく帰途につき、山の麓で空き缶やゴミを拾いながら、子どもたちの下山を待つ保護者の皆さんもほっとされたことでしょう。

### 定例会じゃあ ことがあな話をしたんよ

5月22日(水)

まちづくり横丁(5月18~19日)  
プラザの格好が良すぎて若干の違和感  
横丁では新しいグループの参加があった。  
大文字祭りの準備

「昭和初期可部の町並み再現」

必要な器材はそれぞれ調達のこと

屋台を設置飲み物は従来どおり提供

第一部(昭和初期の町並み) 梶川

第二部(子どもの頃の暮らし) 町内の古老

写真展示 樋野村 司会 和田木

可部中出前講座 6月14日 高松山登山

事前学習 6月11日 梶川、新澤、田中

チンチロビッツ 7月20日(土)

よがんす祭り 8月24日(土)

6月12日(水)

大文字祭り(昭和初期の町並み再現)

いっぱいあったアイデアと気付き

皆さんからは賞賛されたが:もう一工夫

もっと時間がほしかった。

車座にしたら(全体のものになったかも)

TSSテレビ「まんてんママ」

突然の取材に戸惑いも、結果オーライ

梶川さん樋野村さん高畑さんのインタビ

ューもよかった

可部中高松山登山 6月14日(金)

連絡予備要員増強の方法 要検討

水援隊の活動

豊平町どんぐり村で水質浄化テスト

太田川たんけん協会設立加盟

7月13日(土) 根の谷川水質調査ほか

# 主役は町の大先輩 昭和初期町並み再現で

大盛況でした今年の“大文字祭り”のフォーラム。主役は可部の町生え抜きの大先輩たちでした。そのパワーに支えられて、カラスも頑張りました。“昭和初期の可部間の町再現”は、1年半を経過して大きな花を咲かせました。先輩との調整に町中を走り回った梶川さん、よろこんで応えてくださった町の先輩たちの思いがひとつになって今回《大文字祭り》のイベントができたんです。「わしらが出る幕じゃあないで」と言いながらフォーラムに出演してくださった皆さんをはじめ、その話を聞きたくて集まられた皆さんの気持ちが一体となって大きな輪ができました。出演してくださった皆さんの話を要約すると、次のとおりです。



**副田 克美さん** 大正 10 (1921) 年 昭和 3 年は可部小 1 年生だった。子どもの喜びはチンチロピッツ。上市 (現ビッグ) の牛市では軽業など催し物が 10 日くらい続いた。広浜線 (可部線) にも軽便にも乗りました。軽便では八木峠で大人が降りて軽便を押してくれた記憶があります。最近は町全体でやるイベントが無くて寂しい。

**柿本 訓三さん** 大正 6 (1917) 年 絶滅した商売の傘屋をやっとりました。寺山は水晶がとれたんで、取りに行ったもんです。最近「町の中から音、匂い、色がなくなった」と感じます。鍛冶屋、鉄工所など音、酒屋、醤油屋の匂いで溢れていたが、そんな町でなくなった。根の谷川にホテルが飛び交うことを信じています。

**深川 誠男さん** 大正 10 (1921) 年 こまい (小さい) ころ、寺山でチャンバラの近藤勇ばかりやっとなつたけえ勉強はせなんだ (しなかった)。えろ (偉く) うなつとらにゃあいけんのに…、こう言う結果ですわい。(拍手と爆笑) 昔は「ガキ大将」いうのがあって、時にゃあ「柿を取って来い」とか「川で魚を取って来い」とか、今みたいに「金を取って来い」とか言うような事はありまへんでした。

**朝枝 基さん** 大正 13 (1924) 年 この昭和初期の可部の町並みという冊子を読んできたが、ここに書いてあることは聞いたことがなかった。よう調べとってじゃ。おもちゃは買って貰えんで工夫しよった。木谷さんのとこでラムネを作りよったが、ピンが割れるとラムネの玉が出てくる。それを貰って遊びよりました。ラムネッチン(マープル)言うてねえ。釘立てと言うて五寸釘を使う遊びやヨーヨーもありました。

**深川 友三郎さん** 大正 14 (1925) 年 子どもの頃先生はおそろしかった。宿題を忘れると教室の後ろに立たされた。尊敬の念とおそろしさが同居していたようだ。家の中では「畳が擦り切れるけえ」言うて遊ばせて貰えんかったのお。根の谷川と寺山が遊び場で、川で魚を取るの「追いめ」(鵜飼のミニチュア版) で、魚を石の下にすくませておいて、それに「テッピン」言うて石をぶつけてとりましたのお。



## 目を引いた写真

もう一つ目を見晴らせてくれたのは樋野村さんが持ち主の了解を得て写させてもらった、現存する商家の佇まいをテーマにした写真です。

来場された皆さんも、フォーラムの合間を縫って魅せられたように眺めておられました。撮影に応じて下さった方に配慮して名前を伏せての展示でしたが、これが引き金になってもっと紹介することができるようになればまた一つ、面白い写真展が可能になる予感もあります。協力いただいた皆さんありがとう。また、来年もみんなで一緒に楽しいことをやりましょや。

### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

6月 26日 (水)

7月 10日 (水) 24日 (水)

#### カラスのイベント等

7月 13日 (土)

可部公民館 子ども交流事業協力

7月 20日 (土) チンチロピッツ

笹木医院広場

8月 24日 (土) よがんす祭

山陽コココーラ広場?

# 可部カラスの会

第54号 2002.7.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16

Tel(Fax)815-1833(新澤)

kabekarasu@ma8.seikyou.ne.jp (田中)

http://ha8.seikyou.ne.jp/home/kabekarasu/

## チンチロビッツなら こう言う具合にやりましょう

7月20日(土)は明神社の夏祭(チンチロビッツ)の日です。大文字祭で確かな手応えを感じた「昭和初期可部の町並み再現」はこの五丁目あたりの大先輩からの発案でした。そしてそのうねりは、四丁目~上市まで大きく広がって行きました。

そこでカラスは「可部の昔・いま・あすを考えてみませんか」をテーマに、再現された地図の展示と当時の町を撮影したビデオで参加します。お祭で

すからちよっぴり地元のお酒も用意して『居酒屋カラス(料金はいただきません)』の開店と行きましょう。一緒に店を出すJAの新鮮な野菜を使った肴で皆さんの来場をお待ちします。

場所は昨年と同じ笹木医院の前庭で“JAよがんす可部”と“ウイング作業所”の皆さんも店を並べます。地元の酒を酌み交わしながら楽しいひとときをカラスとともに過ごしませんか。

## 水質調査と環境マップに挑戦 高南地区の子どもたち

7月13日(土) うつとしい天気の中で、白木町高南地区<sup>こうなん</sup>5名の子どもたち、ようがんばりました。午前9時可部公民館に集合、根の谷川で水質を調べて“環境マップ”の作成に挑戦です。可部カラスの会から新澤(慶)、上森、山口、和田木の4名がお手伝いで参加です。

作業は雨のため一部分をカットして可部高校から南原川合流点の4ポイントでPHとCODの調査を行いました。そしてそのあとカラスお勧めポイントで新澤さんから可部の昔話“榎の木とタヌキ”を聞いて午前中の作業は終了。

午前中の調査に基づいて、マップ作成は中学生のお兄さんのリードに、当初は戸惑い気味だったわんぱく坊主たちも動物や車などの絵を描いて完成。初めての体験ながら、楽しい一日だったようでした。



### 定例会じゃあ ことがあな話をしたんよ

6月26日(水)

町並み再現地図の修正版が完成

地図の販売希望が多数あり

可部中の高松山登山について

6月8日カラスと先生とで事前登山

6月11日生徒二百名の事前学習に、登山

の愛好家多数の応援あり。高松山模型も活用

6月14日登山実施、無事に終了

水援隊

更新登録終了。シロガヤツリクサ豊平へ一

部移転予定(7月7日)

三人中「地域を知ろう」にまず先生と学習

今後の予定

チンチロビッツ 7月20日(日)

可部公民館子ども交流事業 7月13日(日)

松友会(歩こう会)の町案内 7月3日

7月10日(水)

シロガヤツリクサ豊平に移転 7月7日

効果は不明だが皆に関心をもってほしい

新曲可部カラスのイメージソングを試聴

西本範男さんファミリーの力作に脱帽

発表は『よがんす祭』(8月24日)で

可部高校の秋の文化祭

地域の人々との連帯を深める「きずな」を

テーマに文化祭を企画。

中電コンサルから要請あり

根の谷川の整備構想について意見を聞き

たい。「春夏秋冬」と一掃に対応を

チンチロビッツ

昭和初期の可部の町並み地図・ビデオ

準備は新澤、瀬戸。当日は午後2時集合

# 皆さんの意見をバネにより充実した活動に



皆さんの熱い視線の中で開いた“昭和初期の可部の町並み再現”フォーラムがカラスの予想以上の反響でビックリしています。

なんとと言っても可部の町を支えてきた大先輩の力のものすごさを感じたのはカラスよりも参加者の皆さんでした。それは発表を聞く参加者皆さんの表情のなかにも感じました。アンケートの中から皆さんのご意見をつぎに紹介して、今後の私たちの活動の糧にしたいと思います。

## 年代別

～50歳	50歳代	60歳代	70歳～
20	24	13	22

## 居住地別

可部	可部南	可部東	亀山	三入	大林	その他
39	3	3	6	3	0	25

## 70年前の可部の町の話聞いた感想（複数回答）

昔の可部の町は活気があった。商工業も繁栄していた。	50
道路や町並みも今もまだ残っているところがある。	45
当時の暮らし方や、まちの様子は、今と大きく変わっている。	32
昔のものも大切だと思った	34
これからの新しい可部の町づくりについて考えてみたい。	20
その他	3

この会に参加して興味深く感じたことはなんですか、その他の感想（任意の回答）

- ・ 昔の川、道路、町名の変遷。
- ・ （可部バイパス）が完成すると可部の町並みをゆっくり散策してみたい。
- ・ 明治18年生まれのおじいちゃんの話思い出しました。
- ・ 昔のような活気のある町並みを今一度再現を。大文字祭、来年も来たいと思います。
- ・ 普段、気にもとめず何気なく歩く町並みにたくさんの歴史があることを発見でき有意義でした。子供に「ここには～あったんよ」と、にわか教師になって教えたいです。
- ・ 太田川の流路の変遷、湧水等の自分にとっての新しい発見。
- ・ 温故知新 大切なことだと思います。
- ・ このようなお祭は例がなく、非常に感銘した。
- ・ 交通史、昭和中・後期の町並みも知りたいですね。
- ・ 休日は旧道を歩行者天国の実施をお願いします。
- ・ 思い出だけでなく今後の町のため発展案も考えてください。

## カラスのスケジュール

### カラスの定例会

7月 24日（水）

8月 7日（水） 21日（水）

註 14日は“お盆”じゃけえ 21日なんよ

### カラスのイベント等

7月20日（土） 明神祭“チンチロビッツ”  
笹木医院 前庭 14時集合

8月24日（土） よがんす祭  
コココーラ広場

可部カラスのイメージソング発表

9月 4日（水） 松友会（歩こう会）

（7月3日が天候不順のため延期のもの）

## カラスの唄できたあ

「誰か早いこと“カラスの唄”を作りんさいやあ」と焦りを隠せない友広代表「そがぁに早いことできやあせんよお」とは烏合の衆のつぶやき。

ところが急転直下唄ができたんです「可部カラス」の唄が…小唄風でもない、音頭でもない、ニューバージョンで。

「お～い、唄ができたんでえ、ちょっと聞きに来てやあ」加納さん宅へ駆けつけて「ワッハーアーこりやあすごいのお」可部で金物屋を営む西本一家。奥さんの作詞、息子さんの作曲、お父さんが監修。お披露目は8月24日の“よがんす祭”、それまでにカラスが唄えるようになってるかどうか、それが問題です。



# 可部カラスの会

第55号 2002.8.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16

Tel(Fax)815-1833(新澤)

[shinzawa@fureai-ch.ne.jp](mailto:shinzawa@fureai-ch.ne.jp) (田中)

<http://ha8.seikyoku.ne.jp/home/kabekarasu/>

## よがんす祭は 道の名前とカラスのうたでようがんす

可部小3年生“交通の歴史”の出前授業で、質問の時間に手を上げて「道路にはどうして数字の名前がつくんですか」子どもたちには191とか54号バイパスとか言うのは馴染みにくいようです。

また昨年3月可部カラスと商工会有志でまちづくりの先進地を視察した帰路、「どうでも可部の道や小路に親しめる名前をつけましょうやあ。」という提案がありました。そこで皆さんと一緒に考えてみることにした

んです。郷土史研究会の下野岩太さんが書き写された正徳年間(1771~1715)の地図あまのくにたかみやごり《安芸国高宮郡可部町絵図》に小路の名前が示されていますが、当時は生活に密着したネーミングが多く、辻村屋小路、寺小路、味噌屋小路など六つの小路に名前がつけてあります。それに引き換え、最近の名前はたとえばモクレン通りのようにロマンチックなものが多くなりそうです。

今回は地図に小路をプロット(古い名前があれば表示して)皆さんに呼びかけたいと思っています。“自分の思いを込めて”名前をつけて貼って下さい。そして自分がつけた名前をみんなで語り合ってみませんか。

## カラスを超えた 可部カラスのうた できたんよ

いよいよできました。カラスがどうしてもほしかった“可部カラスのうた”。それは可部カラスを超えたものでした。つくったのは「西本金物店」の西本範男ファミリーです。

先日のライオンズクラブ定例会(西本社長もライオンズの会員)で披露したところ『大好評』会場は一気に盛り上がり、二次会では町内の飲み屋に繰り出したメンバーで町の活性化が図られたとか。

一方作曲に取組んだ西本ファミリーは、更によい

ものを目指して8月10日(土)午後9時半、激しい雨と雷の中を緑井の“広島音楽センター”に集合。オカリナ担当の加納さんも追加の打楽器“ビブラスラップ”でのぞみました。このCDは月末頃に完成の予定です。

因みにこのうたは8月24日の《よがんす祭》の会場で西本ファミリーの生演奏で披露される予定です。午後6時ころ“ビンゴゲーム”が終わって、休憩のあと。とにかく会場へ来て聞いてください。

### 定例会じゃあ こがあな話しをしたんよ

七月二四日(水)

可部公民館子ども交流事業

水質調査に協力、環境マップを作成

これら事業にどう係わるかが今後の課題

チンチロピッツの成果と反省

可部農協、ウイングとの共催のあり方

カラスのお客さんはじっくり見ていた

クリーン根の谷川 (9月28日)

可部高校、安佐北高校にも呼びかけを予定

ホームページバージョンアップ

具体化に先立ち方向を検討、指導山下さん

よがんす祭 (8月24日 土)

テーマ 可部の通りにネーミングを

可部カラスのうた披露 すばらしい前評判

横川く可部バスが走って百年目

タイアップの方法 商工会へもアプローチ

八月七日(水)

各種報告

カラスのうたをライオンズ定例会で紹介

水辺の夕日コンサート 少なかった

根の谷川の整備構想(文教女子大付近)

ヒアリングの予定あり

高松山植生、植物を紹介する手引書作成

四季の高松山を紹介、来年の大文字に:

可部の町案内について

松友会と福原団地福寿会から要請あり

ホームページバージョンアップ

教師山下 生徒新澤、瀬戸、田中、和田木

よがんす祭 8月24日(土)

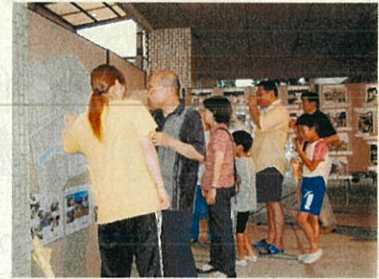
可部の道に親しみのある名前をつけよう

可部カラスのうた発表にステージバックを

# じっくり見て行ったお客さん チンチロビッツで

「この間はええ映像を見せてもらいました。」「ありがとうございます」「疲れちゃあなかったです?」「いいえのお、面白いけえくたびれておりません…」これはつい先日のとあるスーパーで交わされた会話です。

「いつ見てもあの映像はすごいのお」いつまでも席を離れようとしなない人、それはもちろん古い可部の町の映像を見に来られたグループです。また“ぶらり”と入って振舞い酒にビックリするやらうれしいやらの方もあったようです。とにかく皆さんカラスの店に堪能されたことは間違いありませ



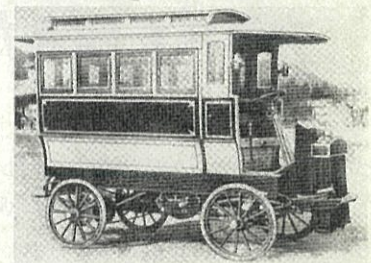
せん。今年のチンチロビッツ（明神さん）は昨年とおなじ笹木医院の広場を借りての開店ですが、今年は“JA よがんすグループ”、“ウイング共同作業所”の三者での運営でしたが、ちょっとした悩みも発生しました。コンセントの電源容量（ワット数）を超える電気器具のため、ウイング作業所のコーヒー沸し器などが使えなかったことなどです。来年は三者が事前に電気の使用など協議して運営して行きたいと反省しています。女性のカラスが調理した野菜などを一人で黙々と焼き上げる田中（広）さん。最後まで頑張ったというか、手伝う人がおらんかったというか、写真を見てやってください、相当の減量に成功した様子です。

## 百年前とおなじ バスが走るんじゃそうなの

明治36年1月横川～可部をバスが走ったことは皆さんご存知でしょうが来年(2003)でちょうど100年目にあたることを知っていた人ありますか？

横川の皆さんは商店街を中心として熱く燃えています。《日本最初のバス》が走った横川から「もう一回バスを作って可部まで走らせてみよう。」と言うものなんです。

バス発祥の地横川では、横川地区再開発に呼応して「バスを復元してみたい」という願望が強く、それが高じて「バスは走るもんじゃ」、から「走らせるんなら可部までじゃ」と夢は大きく広がって、可部まで走らせる雰囲気になってきたんです。素晴らしいじゃないですか。まさに大人のロマンですよネ。



《レトロバス復元の会》の発足総会は8月28日(水)午後6時半から“三篠公民館”で開かれる予定で、可部カラスもぜひ参加して欲しいと案内がきています。

### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

8月 21日(水)  
9月 11日(水) 25日(水)

#### カラスのイベント等

8月24日 よがんす祭 コカコーラ広場  
12時～22時  
可部の道に名前をつけよう  
可部カラスのイメージソング発表  
8月28日(水) レトロバス復元の会  
三篠公民館 18:30～  
9月 4日(木) 可部町案内  
松友会 老人集会所 集合所  
9月20～21日 可部高校 文化祭応援  
10月20日(日) 可部の町案内  
福壽会(亀山福原団地)

## 車両部や広報部など

会の運営は総てボランティア。車両を復元する車両部、復元資金を集める総務部、事業をPRする広報部などで構成されるそうです。

## 可部にも受入の体制を

さてさて横川の体制ばかりPRしましたが、早く受け入れ側の体制を作りたいですね。

大文字祭で大活躍した町の先輩達、可部町商工会やバスの停留所があった五丁目の皆さんなど、みんな一緒にやってみませんか。おもしろそうですね。

# 可部カラスの会

第56号 2002.9.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16  
 Tel(Fax)815-1833(新澤)  
[kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp](mailto:kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp)(田中)  
<http://ha8.seikyuu.ne.jp/home/kabekarasu/>

## 力を合わせて クリーン根の谷川

**受付は2ヶ所で ごみの集約は1ヶ所で**

早いもんですね、今年で6年目を数える”クリーン根の谷川”。昨年同様可部学区公衛協との共同作業になります。

9月29日(日)8時まで ①可部高校グラウンド南 ②上原橋東側に集合して受け付けをして下さ

い。作業は10時まで、いつものとおり小雨でも決行します。



昨年の活動状況

## 確かな反応 町の人々

今年は各町内会のほかに、小・中・高校の先生やライオンズクラブ、地域の企業にも呼びかけることにしました。

結果は幕を開けてみないとわかりませんが、多くの方に参加してもらえないかと期待は膨らんでいます。

今年のチラシ配布のお願いで町内会を廻ったとき、地域の皆さんの手応えにしっかりしたものを

感じました。「毎年、集会所でいろんなイベントをやってくれる皆さんですね、ご苦労様です」、「あんたらみたいにな一生懸命がんばってるグループの依頼なら受けましょう」などなど励ましの言葉をいただきました。

みんないい汗を流して『反省会』では今後のカラスの活動をどうするか大いに語り合いました。

## 歩こう会の皆さんをご案内



9月4日(水)、今日は松友会(広総OBの歩こう会)を可部の町へ案内する日です。一行は安佐北総合福祉センター老人集会所へ予定より早く到着され、歓迎の挨拶後、カラスの活動について手短かに説明しました。続く可部の町案内ですが旧道は車が多くて危険なので裏通りを案内しました。興味深そうにカメラに収

めたり、皆さんから質問もいろいろ受けました。コースの最後はかつて栄えた“舟入堀”。ここでは祇園から来た小学生たちが食事中でした。いろいろ予定が狂っても、“なんとか”進行できるカラスのメンバーの力量の大きさを感じました。

### 定例会じゃあ こがえな話をしたんよ

九月一日(水)

可部小郷土資料室整備

8月中に2回実施 道具の使用法の解説を早目に

カラスのH・P隔週土曜日実施次は14日

カラスのイメージソング

よがんす祭で発表 好評

ふれあいCHのコメントもよかった

レトロバス復元の会設立総会して7名参加

副会長に友広代表

公民館祭の運営方法

11月2〜3日 内容は別途検討するが

レトロバスを借りてきて展示したい

水主町敬老祝賀会でビデオを上映

新澤慶、和田木 出演

根の谷川整備構想のヒアリング

9月25日または29日を希望する

太田川たんけん協会第1回総会

9月17日 新澤、和田木出席

可部高校文化祭 9月21〜22日

クリーン根の谷川 9月29日

チラシ4500枚作成

配布先 可部学区、可部南学区のほか

小・中・高校、公民館、企業にも配布

反省会 ひふみ会館

カラスの活動をどうするか論議しよう

# 好評だった カラスの活動ビデオ



今年のがんす祭で好評を博したのがカラスの活動をまとめたビデオの映像です。

昼間のステージでは大正琴、民謡、太鼓などの演奏やビンゴゲーム、餅撒きなどでお祭の雰囲気は盛り上がり、そして夜の部は西本ファミリーが作詞作曲したカラスの応援歌“可部カラスの唄”で会場は沸きました。

やがて陽も落ちてカラスの店ではビデオの映写開始。内容は“チンロビッツ(昨年可部の夏祭を見学した南アフリカの子どもたちの記録)”、“可部線探索(三段峡まで開通の記録、おもいきりテレビにも提供)”、“大正末の可部(藤井さんのフィルムビデオ)”などでしたが、どのビデオもじっくり足を止めて見入る人、椅子に腰をかけてゆっくり見る人びと、中には映像を見ながら質問する方もあって大変な賑わいを見せました。

## レトロバスで可部へ行こうやあ 復元の会発足



8月28日(土)、会場となった西区三篠公民館は超満員の盛況でした。マスコミはもとより、今から百年前に横川～可部間を走った国産のレトロバスを復元しそれを走らせてみたいと、ロマンを求めて集まった人たちで『レトロバス復元の会』の発足総会が開かれました。もちろん“可部カラス”も例外で



はなく、駆けつけたのは友広、新澤、瀬戸、加納、西本(典)、山下、和田木の7名は何としてでもバスを可部まで呼びこみたい思いのメンバーです。会場にはレトロバスの模型も飾られていました。

蓄音機のぜんまいを手で回してのレコードコンサートで始まった総会は、設立の趣旨が読み上げられ、続いて「レトロバス復元の会の会則」が満場の拍手で承認されました。

会長には原田睦民(市農協組合長)さん、副会長3人の中の一人にカラスの会の友広代表も選出されました。順調にスタートした会ですが、バスが実際に横川～可部間を走るまでには様々な困難な問題を解決する必要があります。広く、多くの市民の皆さんから絶大な応援をいただき是非とも実現させたいものです。

## カラスの応援歌に すっご〜い反響

“可部のカラスが集まると……語り伝えて可部カラス”……。カラスの応援歌を超えて可部の町応援歌としても遜色のない唄ができました。



可部カラスの唄の作詞作曲を担当した西本宅には知人、友人、小学校の恩師などからの電話でてんてこ舞いでした。

“よがんす祭事務局”にも新聞を見た人達から「発表時間」の問い合わせ電話で混乱が続いたそうです。

唄の披露はよがんす祭の午後6時頃から。大勢の聴衆が見守る中で西本ファミリー4人プラス加納さんのメンバーは可部の空に響き渡る声で唄いました。終わると同時に会場は大歓声に包まれました。

「カラスの唄をつくっただけでも嬉しいのに…光栄です」と西本さん。親身になって録音に付き合ってくれた広島音楽センターさん、みんなみんなありがとう。

### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

9月 25日(水)

10月 9日(水) 23日(水)

#### カラスのイベント等

9月21日(土)～22日(日)

可部高校文化祭

9月29日(日) 8:00～10:00

クリーン根の谷川(少雨決行)雨天中止

10月16日 可部中 インタビュー(予定)

10月20日 亀山 福壽会 可部のまち案内

11月17日 体協主催可部学区民ハイキング  
ビデオ映写

# 可部カラスの会

第57号 2002.10.15

## 学校の応援

# 大きな盛り上がり クリーン根の谷川

## 可部カラスの応援歌



9月29日(日)は233名の皆さんが根の谷川に集まりました。可部カラスの会と可部学区公衛生推進協

議会の呼びかけに応じて集まってくださった方々の中には可部高校、安佐北高校、可部中、可部小

そしてボーイスカウト(カブスカウト)の姿も見えます。

午前8時、カラスの代表友広さんは「今年で6年目ですが、沢山の方が参加されたのは“水を大切にしたい”との気持ちの現れです」と挨拶。早速作業に取りかかりますが、拡声器のトラブルで中断していた『可部カラスの唄』も流れ始めました。もちろん西本ファミリーを代表してリードボーカルを受け持った祐太郎くんも参加しています。「どの人?教えて〜」は参加した女の子の声でした。

## 予想以上の参加者 慌てる事務方

高校生たちはびしょぬれになりながら川に入ってゴミをひろいあげ、地域の人は馴れた手つきで集めたゴミを集積場所まで運び込み、ゴミを分別して積み上げます。予定を遥かに上回った参加者のおかげで作業はどんどん進み、1時間あまりでほぼ目途がつかしました。「参加した皆さんご苦労さんでした。」でお開きの予定ですが、肝腎のジュースが届きません。ジュースの追加注文などに手間取ってしま

いました。ようやく届いたジュースで喉を潤し、来年の再会を約して散会の運びとなりました。

反省点はいろいろとありましたが、学校に呼びかけたことで参加者の輪が一つ大きくなりました。これらの問題点は定例会で充分論議したところです。

来年の参加者はもっと増えることが予想されます。また皆さんと一緒に楽しい行事にしましょうや。

### 定例会じゃあ こがめな話をしたんよ

9月25日(水)

レトロバス復元の会

友広代表 副会長の一人に選ばれる

構成 広報部、総務部、車両部、運行部

水主町敬老会に出演、9月15日(祝)

大正末期のビデオは好評を得た

可部高校文化祭 9月21~22日

写真展 一般・生徒共に人気があった

NHKお〜い日本 千人のメッセージ撮り

9月27日 樋野村他6名参加

可部公民館祭 11月2~3日

6階大会議室半分使用

レトロバスを借りてくる

河川整備に関するヒアリング 9月25日

中電コンサルがカラスから聴き取り

クリーン根の谷川 9月29日(日)

参加者多数の見込み 遺漏のないように

10月9日(水)

各種報告

RCC「レテレ」可部のまち案内に協力

レトロバス復元の会幹事会

クリーン根の谷川 参加数は来年要検討

水援隊シユロカヤツリクサ豊平へ移動

可部中1年生インタビュー訪問10月16日

下の浜女性会「可部の町勉強会」10月16日

亀山・福寿会「可部の町勉強会」10月20日

「拾う大捜査線」10月26日市役所本庁東側

水質調査と芋煮会 11月24日(日)

雨天中止、学校に呼びかけを

「可部まちづくりプラン」瀬戸さんから提案  
将来像の指針が見えて来た

# お〜いレトロバスが来るんじゃそうなでエ

## 11月2〜3日 可部公民館まつりへ

ざっと 100 年前に横川〜可部を走ったバスに敬意表して私たちは“レトロバス”と呼んでいます。明治 30 年代にボディをピンクに輝かせながら乗合自動車走ったんですから、さぞかし可部の人たちもびっくりしたことでしょうね。そのバスが横川から可部へやって来ます。



ここで明治後半の時代背景を覗いて見ましょう。大手町で自転車屋を営む鳥飼さんとその友人の柴さん、はじめて目にしたオートバイに一目惚れ、夢は膨らんで“なんとしても乗合自動車を動かしたい”となり、4 人乗りの自動車を作ったんですが、実用価値はなかったようです。

当時の乗り物は客馬車が主流でしたが、出雲・石見・県北からの物資の集散地として繁盛する可部、軍都として台頭してきた広島にバス路線を…と考えたのが鳥飼さんを始めとする 4 人のグループでした。

そして明治 35 年バスを発注するなど準備を始め、翌 36 年 1 月営業開始にこぎつけました。ところが 1

実は 11 月 2〜3 日開催の“可部公民館まつり”に模型のレトロバスを可部の皆さんに披露しようとの魂胆なんです。展示場所は 6 階の大会議室、バスの展示と共にレトロバス復元の会の発会セレモニーで披露された“バス事業発足の時代背景の話”も予定しています。

### 自動車に憑かれて…

明治の男 夢の追求は…

トンの重量に耐え切れずタイヤがパンク、乗合馬車業者と対立するやら、更に運転技術の未熟などなどのトラブル続出で同年 9 月、正式免許を受けないままに頓挫してしまいました。(この事実に基づいて、日本で最初のバス運行は広島と主張する根拠のようです。)

そして雌伏 2 年が経過した 38 年 2 月、再チャレンジのため横川・可部で開業式を挙げてのスタートです。ところが、前回と同様のトラブル続出。バスの定期運行さえままならず、同年 11 月廃業の憂き目に遭ったのが実情でした。なんとも呆気ない幕切れとはなりましたが“ロマンを感じる”話ですね。え？ロマンだけじゃあ飯は食えんですかねえ。

#### カラスのスケジュール

##### カラスの定例会

10 月 23 日 (水)

11 月 13 日 (水) 27 日 (水)

##### カラスのイベント等

10 月 20 日 (日) 亀山・福寿会 まち案内  
9:30~12:00 公民館第 1 研修室 A

10 月 26 日 (土) 「拾う！大調査線」  
14:00~15:00 市役所本庁東側

11 月 2 日 (土) ~3 日 (日) 可部公民館祭り  
6 階大会議室 レトロバスを呼ぼう

11 月 17 日 (日) 可部学区民ハイキング  
可部の町ビデオ 映写

11 月 24 日 (日) 水質調査&芋煮会  
9:00 南原川及び太田川合流点

#### 水質調査だあ 芋煮会だあ 根の谷川に全員集合だあ

さあ今年もやりましょう水質調査。このイベントも今年で 6 回目になりますね。

11 月 24 日の午前 9 時にスタートしますから、

上流班は南原川合流点

下流班は太田川合流点

芋煮班は可部高校グラウンド下側 (国土交通省管理地) へそれぞれ集まりましょう。

寺本さんがおりません。事前に“水質調査のやり方”を習得する必要がありますぞ。

今年は高校、中学校そして小学校にも積極的に呼びかけて見たいと考えています。

寒い時期の作業です、服装にも気を配りましょう。このイベントが終わると“忘年会”が待っています。

# 可部カラスの会

第58号 2002.11.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16

Tel(Fax)815-1833(新澤)

[kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp](mailto:kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp)(田中)

<http://ha8.seikyuu.ne.jp/home/kabekarasu/>

## レトロバスの模型 国産バス物語のパネル

### 馬きの連続 可部の皆さん 公民館祭りで...



10月1日午後「何じゃ、これは……」可部に到着したレトロバスを見た人は、そう思ったのも無理はないでしょう。今年の公民館まつりでカラスは“百年前に横川～可部を走ったバス”再現の活動を可部の人たちにも知ってほしかったんです。「カラスはまた何か面白いことをやりそうなので」の面持ちで眺める人たちを横目にしながら、模型

を会場まで運び込みました。明けて2日、お祭りの開会と同時に会場が笑いの渦に巻き込まれました。明治のおじさん(樋野村)とおばさん(三木)が揃って皆さんをお迎えで、お祭りのムードは一気に盛り上がります。

明けて2日、お祭りの開会と同時に会場が笑いの渦に巻き込まれました。明治のおじさん(樋野村)とおばさん(三木)が揃って皆さんをお迎えで、お祭りのムードは一気に盛り上がります。

を会場まで運び込みました。明けて2日、お祭りの開会と同時に会場が笑いの渦に巻き込まれました。明治のおじさん(樋野村)とおばさん(三木)が揃って皆さんをお迎えで、お祭りのムードは一気に盛り上がります。



## カラスのお店は大繁盛

### 活動に 称賛の言葉もいただいて

今回の展示は特に皆さんの目を引きまします。入口にレトロバスの模型、パネルには三篠公民館から借りてきた「日本初国産ガソリン式乗合バス物語」のパネル13枚、可部の地図と写真などを飾り付けてお客さんを待ちます。屋台には「駄菓子」も用意しました。そして午前、午後1回ずつ国産乗合バスの

歴史の解説を用意したところこれがまたヒットで、用意した椅子が足りず慌てて補充する有様でした。

こうしてカラスにとって慌しく、楽しい2日間が過ぎてゆきましたが、「可部カラスさんは、何時も面白いことをやってじゃが、教えて貰うことがいっぱいあるんよねえ」との言葉をいただいて感激です。

### 定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

10月23日(水)

各種報告

レトロバス復元の会 議事録のとおり

可部中インタビュー 元気がほしい

下の浜女性会「可部のまち学習会」

福原団地「可部のまち案内」

「可部にやアええ道があるじゃあない」

可部公民館まつり(11月2～3日)

「バス物語」と「レトロバス」三篠公民館へ

借り受けに行く。

カラスの屋台に駄菓子を置く

レトロバス車両部会

可部独自の販売方法を考える

可部小郷土資料室の整備

事務局長が現地に赴き再調整

プレイパーク 寺迫公園 11月10日

11月13日(水)

各種報告

レトロバス 各部会の報告

可部小郷土資料室整備終了

可部公民館まつり 成功裏に終了

NHK・RCCテレビ出演

可部学区民ハイキング 11月17日(日)

町案内とビデオの上映 6名で参加

水質調査&芋煮会 11月24日(日)

9:00スタート 太田川橋東、横川橋、可

部高校南側にそれぞれ集合

西区老人クラブから講演依頼

西区区民文化センター 1月30日(木)

テーマ「高齢者パワーでまち起こし」

カラスの忘年会 12月11日 ひふみ会館

# わあ すごい! はじめて通ったよ こんな道

## 亀山 福寿会で 感嘆の声

「まあ、すごい景色じゃねえ、可部にこういうええ所があったのに全然知らなかった了。」亀山・福寿会の皆さんと一緒に可部の裏道を歩いた時のことです。可部地域に縁のなかった皆さんが亀山へ住んで30年、高齢者パワーでハイキングをやってきたものの、気がついてみると可部の町かどをじっくり見たことがなかった。早速可部カラスに意向打診があつて実現したのがこの企画です。

10月20日(日)10時半可部公民館に集まった25

名のメンバーをお迎えするカラスは梶川、田中、和田木の3名です。早速可部の移り変わりを約30分で説明、続いて町並みの案内に入りますが、ポイントごとにみなさんから歓声が上がります。特に光善坊〜水主町界限がお気に入りの様子でした。明神さんで折り返し、今度は根の谷川沿いを案内しましたが、真向かいに見える高松山と寺山が川に映えた美しさに大満足でした。公民館へ帰って楽しい食事で可部のまち探索を終了しました。

# お年寄りのパワーが カラスを動かしたんじゃないや そうな

## 下の浜女性会のお勉強

10月16日(水)は可部・下の浜女性会による「可部の町学習会」の日でした。

「私らも古い可部の町をもっと知りたいけえ、カラスさん話をして頂戴や」女性会の役員さんからの要請を受けて集まったカラスが4羽(新澤、梶川、山口、和田木)、忙しい日程を遣り繰りしての講座でした。

この日のテーマは「昭和初期の可部の町並み」です。男性の参加者を含めて約30名の人たちが、地図を壁に貼りつける途中から集まって「ああじゃこうじゃ」と騒がしいことです。講師はこの地域で育った梶川さん、顔見知りも多く、話もスム

ースに流れて行きます。

解説は、愉快的ジョークを織り交ぜて約1時間半で終了しましたが、地図作成のエピソードなども披露さ

れて会場は明るい雰囲気でした。最後に用意した「可部カラスの唄」を紹介したところ、じっと聞いていた男性が「おっ、こりゃあええ唄じゃ」と頷かれたことが印象に残りました。



### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

11月 27日(水)  
12月 11日(水) 25日は休みます  
(場所 ひふみ会館)

#### カラスのイベント等

プレイパーク 11月10日(日)  
説明会 11月5日(火)  
可部学区民ハイキング 11月17日(日)  
9:00 可部小集合 町案内とビデオ  
根の谷川水質調査&芋煮会 11月24日(日)  
9:00 上流・下流・芋煮場所へ集合  
カラスの忘年会 12月11日(水)  
19:00 ひふみ会館 定例会も含む



### レトロバス 短信

#### 部会のお知らせ

広報部会(10月18日)

NPOの可否は活動の方向を決めてから検討  
一般募金は1口1,000円、複数口大歓迎  
11月中に趣意書・募金グッズを決定する

総務部会(10月18日)

イベントに積極的に参加する  
「かわら版」に記事を掲載しHPも立ち上げ

車両部会・運行部会合同(10月24日)

公道を走るにはさまざまなネックが…  
車両下部構造の設計者がほしい  
資金もほしい



# 可部カラスの会

第59号 2002.12.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16

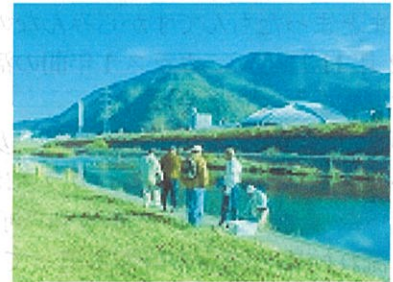
Tel(Fax)815-1833(新澤)

[kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp](mailto:kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp)(田中)

<http://ha8.seikyuu.ne.jp/home/kabekarasu/>

## まじめに測って 楽しゅうに飲んだよ

11月24日(日)はカラスの恒例“根の谷川水質調査と芋煮会”です。今回は高校・中学校の皆さんはスケジュールの調整がつかず参加されなかったことは残念ですが、定例会での打ち合わせどおり朝早くからメンバーは所定の位置に集結しました。上流班は瀬戸、田中(加)、三木、辻村、迎川、上森(六) プラス特別応援の春夏秋冬・山田夫妻の8名、下流班は友広、新澤(孝)、古井、田中(広)、江角、梶川の6名、中央の芋煮班は加納、新澤(慶)、上森(厚)、和田木のメンバーで作業開始となりました。便利になったねえ携帯電話、各班とも交信電波が飛び交って作業の進捗も手に取るように見えるんですから。



根の谷川下流の調査(下流班)

芋煮班には思わぬ差し入れ…イノシシとシカの肉が届けられ、班長の加納さんの顔も緩みっぱなしで一層磨きのかかった鍋料理ができました。そこへ「アストラムリビング新聞」の取材班2名が到着しました。根の谷川“井手の上”で作業中の上流班へ案内して早速水質調査状況の取材開始です。また上流班では定点ポイントの1箇所が下水道の整備によって観測不能となったことも報告されました。

## リビング新聞社も 取材を開始



いつやっても楽しい芋煮会

下流班の応援で寺山橋まで行き、上下班揃って本部へ到着、いよいよ芋煮会の開始です。飲みながら食べながらもリビングさんの取材は続きました。

たらふく食べて、しっかり飲んで宴もお開きとなりましたが、みんな満ち足りた顔つきで、ごみもきちんと整理し、明日からの活動を約して散会しました。

「昨日はカラスさん何かやったんじゃねえ」「うん、水質を調べてねえ」「やっぱり…カラスはええことをしよるんじゃねえ」これ、地域の人との会話。因みに「アストラムリビング新聞」の発行は15年1月初旬の予定です。

## 定例会じゃあ ことがあな話をしたんよ

11月27日(水)  
各種報告

可部学区体協・可部公民館主催ハイキング  
11月17日(日) 好評を得た

根の谷川水質調査&芋煮会 11月24日  
スケジュールの都合で学校は不参加  
春夏秋冬の山田夫妻の応援とアストラムリビング新聞の取材あり

ダブルポイント制の説明 11月22日  
地域通貨として将来を見据えよう  
カラスの反省会 12月11日(水)

会員・招待者に周知徹底のこと  
献立は「鍋物」で愉快にやろう

12月11日(水)  
一年間の総括

女性カラスの手料理をつつきながら…  
BGMに可部カラスの唄を流しながら…  
至福のひとつ

カラスの活動件数57件(年内予定も含む)  
ベストテンは裏面に掲載

異国の情報

井手本 ネパール訪問  
学校を寄贈し招待されて

和田木 パラオ  
カラスパラオ支部結成…見送り

樋野村 ハワイ  
新しい発見

カラスが感じた今年の特徴  
可部地域の団体から多数出前講座の依頼  
可部の皆さんに感謝しながら閉幕  
来年も頑張りますようや

# うっひゃあ！！ すっご〜いねえ

## 活動実績にビックリ 年末の反省会で

みんながビックリしたのも無理のないことでしょう。なにせ大小混ぜれば年間 57 件の活動実績がまとまったもんですからみんなの眼が輝きます。12月11日(水)、カラス1年間の活動を総括する“反省会”でのことです。

場所はお馴染みの“ひふみ会館”、女性のカラスは料理づくりに専念し、男のカラスはお酒を買いに行ったり会場づくり。そのうち“可部カラスの唄”も流れ始めて開会の時間が迫ってきました。

なにとはともあれセレモニーは乾杯から…。楽しいお酒はいつも美味しく、程よく酔いが回ったところで皆さんの声に押されて立ち上がった和田木さんは「可部出身の女性をターゲットに可部カラスパラオ支部の結成を目論見ましたが…」とパラオの報告をひとしきり、井手本さんは学校を寄贈して招かれたネパールの話を、樋野村さんはハワイの話を…。なんとも国際色豊かな反省会に酒のピッチも上がりました。

## 項目ごとに挙手でカウント 活動の人気投票

おととと、肝腎な1年間の総括を失念しておりました。やおら立ち上がった事務局長の新澤さん、「項目ごとに“よかったあ”と思うイベントや活動に手を挙げてください」。かくして決まった今年の《活動ベスト10》は次のように決まりました。

- ・昭和初期の可部の町並み再現フォーラム (5/25~26)
- ・可部よがんす祭でイメージソング「可部カラス」ステージ演奏発表 (8/24)
- ・愛媛県内子町現地視察学習 (2/23~24)
- ・可部公民館祭「レトロバス復元のロマン」発表 (11/2~3)
- ・根の谷川水質調査&芋煮会 (11/24)
- ・地域づくり活動部門で総務大臣表彰受賞 (1/16)
- ・可部明神社夏祭「チンチロビッツ」交歓交流の場 (可部のビデオ映写・再現地図の展示) (7/20)
- ・クリーン根の谷川参加者拡大 (小・中・高の児童生徒、教職員、団体) (9/29)
- ・安佐医師会可部ブロック出前講座 (大正末期の可部、レトロバス、可部カラスの唄) (1/30)
- ・RCCテレビ“中村克洋ごじごじテレビで可部のまち紹介” (10/8)



可部の町並み再現



公民館祭

### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

- 1月 8日(水) 22日(水)
- 2月 12日(水) 26日(水)

#### カラスのイベント等

- 12月12日~1月17日 安佐北総合福祉センターロビーにおいて「昭和初期の可部の町並み展」を開催
- 1月30日(木) 西区区民文化センターにおいて「高齢者パワーでまち起こし」でカラスが講演
- 2月9日(日) 場所未定 15:00 レトロバス模型 歓迎会



### レトロバス 短信

レトロバスの模型が大勢に引かれて来るよ  
2月9日(日) 午後3時頃可部に到着予定。  
約100年前の明治38(1905)年2月5日は横川で、6日は可部で乗合バスの開業出発セレモニーが行われた日に因んで、横川から可部までみんなが引っ張ってくることになりました。  
可部では到着を祝ってセレモニーをやります。(場所未定)  
乾杯の後、参加者に温かい芋煮汁を振舞う予定です。  
詳細は新春1月号で。

# 可部カラスの会

第 60 号 2003.1.17

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16

Tel(Fax)815-1833(新澤)

[kabekarasu@ma8.seikyou.ne.jp](mailto:kabekarasu@ma8.seikyou.ne.jp)(田中)

<http://ha8.seikyou.ne.jp/home/kabekarasu/>

## 拠点がほしい 会員構成の見直し 定例会は… 活動の記録は 新春放談会で

今年は、横川一可部間レトロバス復元のための活動や高松山登山道の樹木・植物案内標示板の設置、まちづくり先進地の視察研修など新年早々から大きな行事に取り組みます。

友広代表からこれからの活動に向けて少し検討しておきたいので、ちょっと家に来てくれんかと連絡があって集まったのは5羽のカラス。いざ始めてみると、今まで活動が続ける中で気になっていた事柄が続々と出されて、2時間近くも熱を帯びた論議が続きました。

追って皆さんの意見を集約する機会も持ちたいので参考までに主なものを紹介します。

### 1.拠点の設置

誰でも出入して情報が得られるような拠点がほしい。最近新聞に載らんがどうしよるんやと言われる。町づくりに関わる情報を受発信するためにも拠点となる場所や施設が欲しいというのが大方の意見でしたが、他団体と共同で運営するとすれば、目的をはっきりしておかないと難しい。留守番役もいるし、お金も必要なので利用率によってもめることもありうる……との意見もありました。

### 2.定例会の運営

出席率が低いのは楽しくないからではないか。みんなが発言できる雰囲気づくりとして机の位置を輪に変えてみるとか、全員が発言できる雰囲気してほしい。行事の打合せ以外に為になる話。

### 3.活動計画の具体化

活動も何年か経つとマンネリ化する傾向があ

る。もう一度“会のあり方、使命(役割)”をはっきりしよう。そのために年間活動に計画性を持たせよう。

「まちづくり」だけでは理解されない。商店街の元気を呼び起こす仕掛けとして“通りのネーミング”などの呼びかけなど具体的行動も必要である。

### 4.メンバーの再確認・再編成

現在の体制で全部乗り切ろうとしたら無理が生じる。改めて会員を確認して“アクティブスタッフとサポートスタッフ(仮称)”に分けること、会費の徴収を検討、入会の誘いや入会の会員証を作って会員の自覚を促すことも要検討。

### 5.活動の記録

今までの長文の記録は無理がくる。今後は原則として4コマ程度の写真(担当は事前割当て)を主体にし、メモ程度のコメントでまとめよう。

## 定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

1月4日(土) 新春放談会

拠点の設置について

今後の計画と活動をどうする

定例会の運営を工夫しよう

会員に区分を(実行と応援と)

討論の内容は 一面を参照

1月8日(水)

高松山の植生と歴史遺跡の紹介

具体的には友広・新澤・梶川で進行

レトロバス復元イベント2月9日

展示と出し物(チラシに記載予定)

レトロバスの模型(当日横川から移送されるもの)を展示

文教大付属高の祝い太鼓

学校の都合により参加不能

バス物語の紙芝居

バスの歌披露(予定)

五丁目町内会の餅つき

焼いも、ぜんざいのサービス

用意するもの

クッキーの準備(ウイング)に

連絡

ぜんざい、焼いもの準備とガスの

手配

チラシ印刷と配布計画

可部学区・可部南学区を中心

・青空写真展(昭和初期の可部の

町並み再現)

・レトロバスのペーパークラフト

・マイク・テント、その他

# 高松山に 高松山に

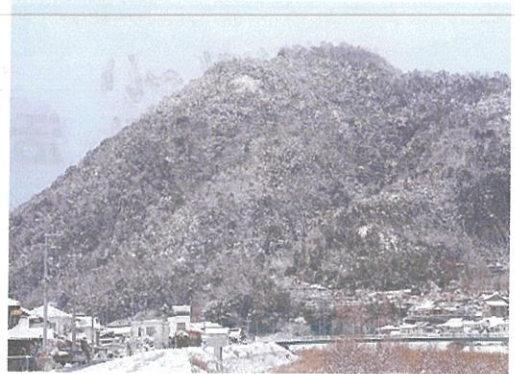
# 植生の解説板を

もっともっと可部のまちを知ってほしい、そんな気持ちで高松山と積極的に向き合っている梶川さんたちは、昨年6月高松山に可部中の生徒を案内したとき山で自生している植物の案内板が必要なことを痛感し、その気持ちは次第に膨らみました。

でも高松山は国有林、勝手に山へ入ることはできません。そこでカラスは代表名で広島森林管理署に入林の許可申請書を提出してみました。

“平成14年11月から15年12月31の間、高松山の植生解説板の設置を認める”旨の文書が届き、早速準備作業に入りました。

作業にとりかかった梶川さんらは植物の名前と参考になるコメントを含めて50~90の文字にまとめるようにして、解説文は佐伯区在住の山下容富子さんに、墨書は可部3丁目の山口英視さんに依頼することとしました。



## 地域の皆さんと共に 掲示しようや フォーラムや現地案内も予定

新年最初の定例会（1月8日）に提出された“高松山植生解説板の取り付け”の構想は、杉板に墨書きしてニスで加工したものを約90枚作成し、可部ルート及び土居ルートに掲示しようというものです。この提案に出席者も賛成し、まず杉板の手配から取り掛かることを決めました。

実施時期は4月からで、地域の団体に協賛を呼びかけて運動を広げたいものです。協賛者の名前も一括して適当な場所に掲示して記録に残そうと考えています。可部のカラスはもちろん、山を愛する人たち、中学校、高等学校の生徒たちも行動に加わってもらいたいです。そのあとで植生の現地案内やフォーラムも大文字祭の前後に開催する予定です。

### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

1月 8日(水) 22日(水)

2月 12日(休館日・中止) 26日(水)

#### カラスのイベント等

1月10日~3月7日 亀山中出前授業

火曜・木曜 2年・3年生を対象

担当者 広島工大 小西教授

カラス 新澤(孝)、田中(加)、友近和田木

1月30日(木) 「高齢者パワーでまち起こし」

西区民文化センター 10:00~12:00

2月9日(日) レトロバス復元イベント in 可部

明神公園広場 13:30~16:30

レトロバス模型展示

餅つき、ぜんざい、焼いも

レトロバスのペーパークラフト etc

共同作業所のクッキー、コーヒー販売



### レトロバス 短信

1月16日 広報部会・車両部会・総務部会  
三篠公民館で開催

2月9日実施のイベントを以下の通り実施。

横川 レトロバス復元 前年祭

第1部 開会式

バスの歌 披露など

第2部 催し物

ブラスバンド演奏 抽選会

第3部 パレード 徒步行進で祇園大橋へ  
バス模型を可部明神公園へ移送

可部 レトロバス復元イベント in 可部

レトロバス模型を迎えて歓迎行事

バスものがたり紙芝居、写真展、他

以下”カラスのスケジュール”を参照のこと